

甲州道とむらみち

道のなりたち

集落に住む人が、食料を求めたり、他の集団と交流したりするため、草や木を踏み分けて同じところを歩くことで、自然と「道」が形成されたと考えられます。

古代には国司の移動や税物品の運搬用として道が作られました。戦国時代になると、大名は領国支配のため道路整備に力を注ぎ、松並木整備や一里塚が設けられました。江戸時代には幕府により東海道、甲州街道など主要五街道が整備され、近代以降は馬車や自動車の普及に対応した道路改良が進み、第二次世界大戦後は道路基盤整備が行われました。

このように、「道」は時代にあわせ変貌しており、市内主要道も位置や形状が変わっていきました。

当時のみちしるべ 左ハ甲州ミチ 右ハむらミチ

市民文化センター近く、深良地区の遠道原観音堂前の石造物のなかに道標があります。

「左ハ甲州ミチ」「右ハむらミチ」と刻まれており、村への道と甲州道の分かれ道に置かれたことが推測されます。市内には、このような道標が13か所確認されています。

左ハ
甲州ミチ



右ハ
むらミチ

遠道原観音堂前にある道標は文政7年（1824）に建てられたもので、「左ハ甲州ミチ」「右ハむらミチ」と刻まれています。ここから甲州みち（甲州道）は、ほぼ旧246号線に沿って岩波駅に至ります。では、「むらみち（村への道）」はどうでしょうか。

「むらみち」は、天田川にそって北上し切久保で天田川を渡り西安寺旧参道入り口に出ます。そのまま深良小学校脇を北上し、坂道を登り切ったあたりで右折していますが線路により寸断されています。そのまま進むと上原の日蓮上人車返霊場に至ります。そこからは、少し北上して西に向きを変え市道2-18号線を北上し大神宮入り口から上丹地区の集落を通して深良川を渡り駒形八幡神社前を通過して岩波に至っていたと考えられます。

甲州みちに比べ、むらみち沿いには道祖神や馬頭観音など多くの石造物が残っており、車返霊場もあり人の往来をうかがうことが出来ます。

楽しい郷土史だより 第9号

令和3年3月 裾野市文化財保護審議会・裾野市教育委員会生涯学習課

今号の「楽しい郷土史だより」では、前号に引き続き“裾野市内の古道（昔から使われてきた道）”特集として、甲州道と矢倉沢道についてお伝えします。

人とくらしをつないだ古い道

道祖神（どうそしん・どうそじん）

村へ疫病や悪霊が侵入するのを防ぎ村人や通行人を災難から守るとされ、村境の道端などに祀られていました。障の神あるいは塞の神ともいわれ、村の外の世界と内側の世界との境を守る神とされました。

石像にはいくつかの種類が見られます。裾野市内では①双体の神像を浮彫にしたもの（双体道祖神）、②単体の神像を浮彫にしたもの（単体道祖神）、③単神体の座像を丸彫にしたもの、④道祖神と文字を彫ったもの、の4種類が見られますが、次ページ以降で紹介する深良の「むらみち」で見られるのは双体道祖神と単体道祖神です。

双体道祖神は男女が合掌している、寄り添っている、手を握り合っているなどの男女一組の神像を並列させた道祖神です。「双立道祖神」の呼称も用いられていましたが、座像や臥像の像も見られることから、「双体道祖神」の呼称が用いられています。双体道祖神は中部・関東地方の長野県・群馬県・神奈川県・静岡県・山梨県に多く分布しています。山間部に多く分布する一方で平野・海浜地域では少なくなり、地域的な流行も存在することが指摘されています。

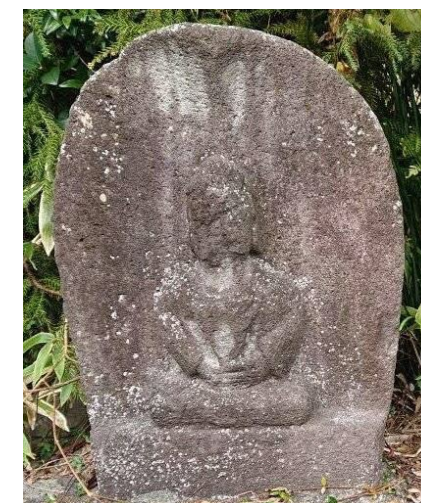
裾野市内には64基の双体道祖神と40基の単体道祖神があります。



連光寺北側の双体道祖神（佐野）



切久保の単体立像（深良）



切久保の単体座像（深良）

甲州道・矢倉沢通 市内北部の見どころ（幕末～明治）

市内北部を通る甲州道と矢倉沢道は、おおよそ旧国道246号線に沿っている。戦後、輸送力増強のため旧246号線が整備された際に屈曲部の直線化が行われたが、下図①、③、④の箇所では旧道の一部が現在に残されている。

①旧道跡（佐野7番地付近）



榊佐々木自動車付近から西側の一段低い所を通っている。旧道の始まり付近には、庚申塔・神明之社がある。

②常夜燈（深良155番地付近）



右の秋葉山常夜燈には文化7年（1810）4月と刻まれている。中央は秋葉山供養塔（文化15年）。左は永代常夜燈の石碑（大正8年）。

④旧道跡（深良772番地付近）

文化センター北側、遠道原交差点の先にあるバス停（切久保入口）から東側に曲がり、ウエルシア前に入る。



④の位置から北側、畑の中へ



航空写真で見ると道の跡がよく分かる



③旧道跡（深良421番地付近）

深良交番北交差点を過ぎたらセブンイレブン東側から商工会館前を通って「おぐち医院」前の小さな丁字路にいたる。東角に遠道原観音堂があり、入口脇にP3の道標がある。道標には「左ハ甲州ミチ」「右ハむらミチ」と書かれている。（緑線はむらみち）



③の位置から北側、セブンイレブン裏を進む



商工会館前を通り過ぎ、丁字路に至る



日蓮上人車返霊場（日蓮宗宗門史跡）
車返霊場は、日蓮聖人が文永11年（1274）、鎌倉から身延に入山する際に立ち寄り、宿泊されたといわれがある。

【編集・発行】裾野市文化財保護審議会・裾野市教育委員会生涯学習課

深良435番地 TEL055-994-0145 FAX055-992-4047

当パンフレットは、市役所、生涯学習センター、鈴木図書館、市民文化センター、ヘルシーパーク裾野に配架しています。また、市公式ウェブサイトでも公開しています。



ウェブサイト▲